



民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
民主党栃木県総支部連合会(広報委員会)
〒320-0043 宇都宮市桜2-1-30
電話 028-627-1700
Eメール minsyu@ace.ocn.ne.jp
ホームページ http://www17.ocn.ne.jp/~minsyu/



代表就任あいさつ

『希望に向かって今こそ共に試練を乗り越えよう!』



民主党栃木県総支部連合会
代表 **福田昭夫**
(衆議院議員)

栃木県連新代表に就任しました福田昭夫です。民主党は国政選挙での二度の大敗を踏まえて、党の再生と国民の信頼回復に全力で取り組まなくてはなりません。その為に、まず民主党が格差を拡大した新自由主義と決別し、連合が掲げる「働く事を軸とした安心社会を創る」政党として生まれ変わる事です。雇用は最大の福祉です。経済を成長させ、完全雇用を達成すれば、税金と社会保険料が増加し、財政の健全化も進み、社会保障の充実も可能になります。

次に、連合の皆さんに組織率を二割弱から三割強へ高めると同時に、必ず選挙に行く運動を展開してもらおう事です。三割の仲間が投票に行ったら、連合が支持する政党が必ず政権を取り、「働く事を軸とした安心社会」が実現するでしょう。

道程は厳しいかも知れませんが、民主党と連合が理念と政策を共有し、本気でやる気を出せば、必ず実現すると信じています。

『希望に向かって今こそ共に試練を乗り越えよう!』

県民・市民の信頼を取り戻す!
県連の具体的な取り組みを松井幹事長に聞く



民主党栃木県総支部連合会
幹事長 **松井正一**
(栃木県議会議員)

栃木県連では、昨年末の衆院選や今夏の参院選の惨敗を受けて、選挙総括と併せて組織強化策を推進していくことを幹事会で決定しました。具体的には、次回統一自治体議員選挙までに、県連の目指す「栃木県の将来ビジョン」の策定を進めることです。民主党は、本年党綱領を決定し、「生活者や勤労者、中小企業の皆様等のための政治」「共生社会」を実現することとしました。県連では、綱領を踏まえた栃木県の将来ビジョンを策定するため、政策研究会を再開し、主要な政策について研究を進めます。また、県政や市町政における重

『将来ビジョンの策定』、
重要課題ごとの「対策チーム」設置、
「政治スクール」の開催、等々

要課題については、「対策チーム」等を編成し、課題解決に取り組むこととしました。まずは、宇都宮市のLRT整備計画に対する「住民投票」実現に向けた取り組みや、民間堆肥化施設「エコシティー宇都宮」の補助金返還問題の真相究明について、対策チームを始動していきます。

県連の総支部や地域活性化のためには、地方議員を増やすことが最重要課題です。今後、自治体議員選挙候補者の発掘や政策研究会とも連携した政治スクールの開催等を検討すると共に、こうした種々の取組を県連組織から意識して情報発信して参ります。また、総支部や行政区支部のあり方を見直すとともに育成に努め、さらなる組織強化を図ります。各種委員会や県連役員と連携し、県連組織の立て直しに向け努力していく決意です。

次世代型路面電車 LRT

導入に

賛成ですか?

反対ですか?

今こそ、宇都宮市民による「住民投票」で決めましょう!

Q 「LRT導入計画」ってどんな内容なの?

A もととは宇都宮市東部(鬼怒川左岸)の渋滞対策として、桜通り十文字からテクノポリスまでの約15.3kmの区間で、既存の路線バスに替えてLRT(=次世代型路面電車)導入案を宇都宮市が示しました。

Q LRTが導入されると何が問題なの?

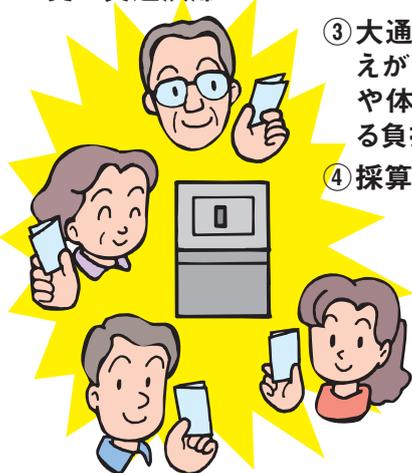
A この計画を実行するためには383億円以上もの費用がかかります。ただし、この予算には付帯設備等の費用は含まれていないので、実際には更に巨額となることは明らかです。もちろんこの費用は私たちの税金で支払われることになるのです。

こんなに費用をかけるのに、

- ① LRT導入後の全体の交通体系や街づくりの視点が不明確!
- ② JR宇都宮駅東西大通りならびに接続する幹線道路は更に交通渋滞!

③ 大通りでLRTとバスの乗り換えが必要になるので高齢者や体の不自由な人には更なる負担発生!

④ 採算性に疑問! 等々...



私たちは、市民の意志を最も民主的に反映する「住民投票」の実現に向け活動します。

Q 「導入」は決定されているの?

A 正式決定はまだされていません。しかし既に宇都宮市は、「LRT導入推進室」の設置や調査費用として1億3,000万円を予算計上するなど、導入に向けた準備を着々と進めているところです。

Q 宇都宮市民は導入に賛成なの?

A 連合栃木総合生活研究所が行った2013県民意識調査結果を見ると、LRT導入計画の認知度は約50%、導入の是非については「必要ない」が30.4%、「積極的に整備すべき」が16.4%、「どちらともいえない」と「わからない」が21.6%という回答でした。

Q 反対する人たちが多いのに、どうして宇都宮市は強引に導入しようとするんだろう。私たちの意志を反映させる方法はないの?

A 住民投票で決める方法があります。LRTを導入することに「賛成」か「反対」か、宇都宮市民が投票します。民意を表すことができる単純明快な手段です。

Q それなら早く住民投票を行って民意を問えばいいのに...

A 残念ながら現在の宇都宮市のルールでは住民投票をすぐ行うことは出来ません。いくつかの条件を満たしてはじめて住民投票の実施となります。

✦ 住民投票がおこなわれるまで

住民投票の実施を求めるためには、多くの宇都宮市民の力を合わせ「住民投票でLRTの是非を決めましょう」という条例を作らなければなりません。

この条例を作るためには「住民投票を行って欲しい」と願う**宇都宮市民約9,000人以上から署名を集めることが必要**です。その後、宇都宮市議会で検討され条例制定の過半数の賛成が得られれば、いよいよ住民投票が行われることになります。

✦ 署名集めが重要なカギ!!

この運動を成功させるためには多くの署名を集めることです。一つ注意しなくてはいけないのは、この署名運動は、一般的な署名と違い『受任者』といわれる署名集めを行う人を事前に決めなくてはなりません。この『受任者』でないと署名を集めることができないという制約があります。

署名集めを成功させるためには、**多くの『受任者』の確保が必要**です。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

【受任者となる条件】 宇都宮市内に住民票のある有権者ならどなたでもなれます。(ただし、公務員の方はなれません。) ※宇都宮市にお引越しをされてきた方は、住所登録から3か月以上経っていることが受任者の条件となります。

「住民投票」の実現に向け、

私たち民主党栃木県連は、LRT導入を阻止するために立ち上がった市民団体「民意なきLRT導入を阻止する会」に参加し、共に活動を行っています。

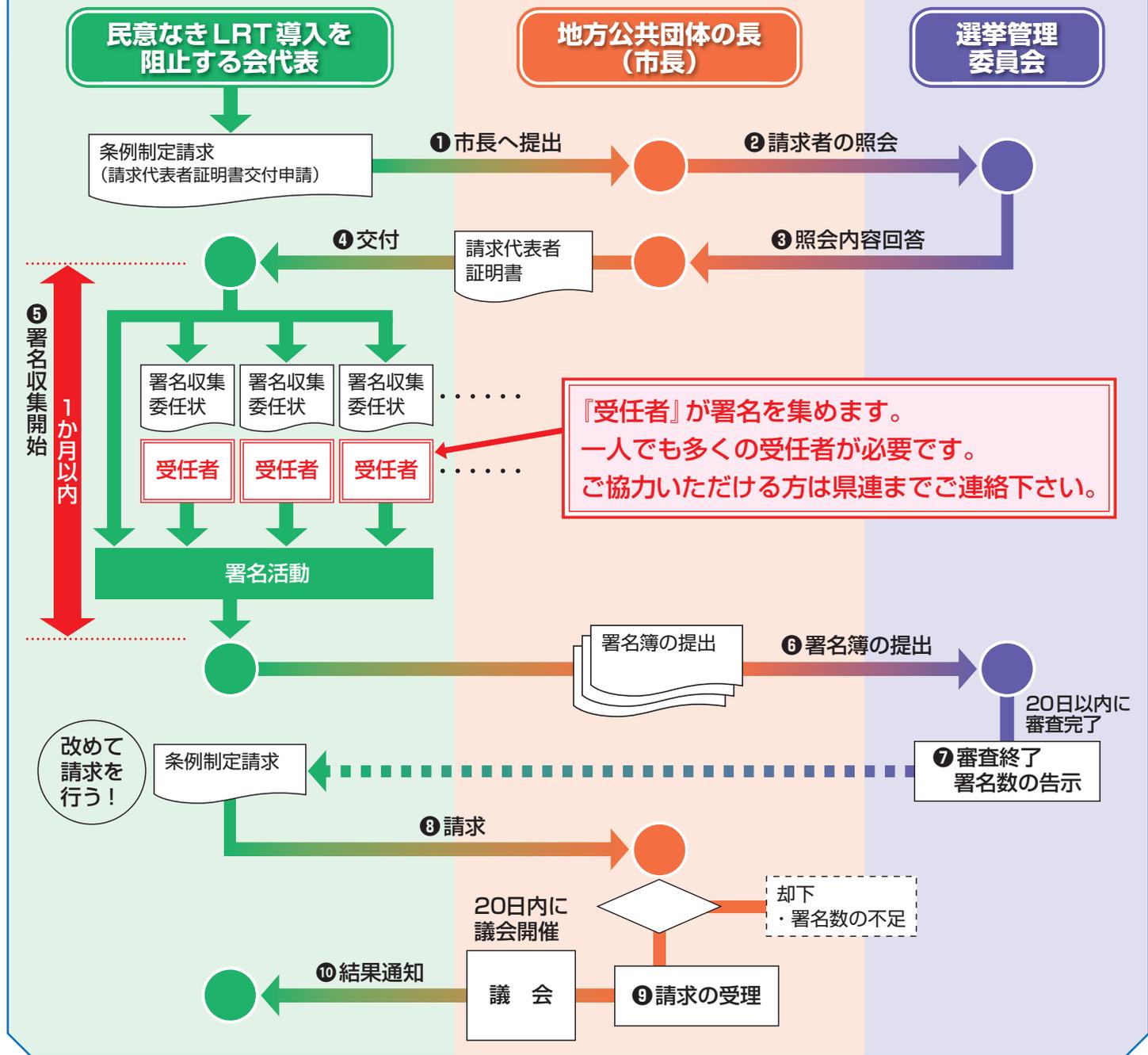
～ LRT導入の是非を問う住民投票条例制定に向けた署名活動成功のために～

「受任者(署名を集める方)説明会」開催のご案内

- 日時・場所**
- ① **10月26日(土)** 午前10時～午前11時
栃木県教育会館・大会議室
(宇都宮市駒生1-1-6 TEL.028-627-7177)
 - ② **10月27日(日)** 午後3時～午後4時
とちぎ健康の森・大会議室
(宇都宮市駒生町3337-1 TEL.028-623-5858)

内容 住民投票条例制定に向けた署名活動のお願いおよび署名収集方法の説明について

住民投票条例 直接請求の流れ



皆様のご協力をお願いします!

参議院議員 田城 郁 国政報告

私、田城郁は、参議院初当選から3年が過ぎました。ご支援をいただいている党员・サポーターの皆様には、改めて深く感謝申し上げます。昨年末の衆議院選挙や今年夏の参議院選挙で、多くの民主党の仲間を失ったことは残念に思っています。民主党に期待を寄せていただけるよう地道に取り組むとともに、栃木県のため、日本のために全力を尽くします。



民主党栃木県総支部連合会
副代表 田城 郁
(参議院議員)

この3年間で「東日本大震災」をはじめ自然災害が多く起きていると感じています。本県では、今年9月4日、正午から夕方にかけて竜巻が発生し、鹿沼市、宇都宮市、塩谷町、矢板市において大きな被害をもたらしました。私は、被害者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧に向けご要望を拝聴しながら関係行政機関等への働き掛けを今後も強めてまいります。

当日の関東地方は大気の状態が非常に不安定になっていて、突風や落雷が発生した時間帯には活発な積乱雲が被害地域を通過中でありました。県内では、9月中旬に計3件の竜巻の発生が確認されています。昨年5月6日に真岡市、益子町、茂木町で竜巻被害を受けました。

9月9日、私、田城郁は、被害状況の把握のために、矢板市荒井と鹿沼市の茂呂から栃窪にかけての被災地の現地調査に入りました。昨年も被災直後に現地調査を行いました。あらためて竜巻被害の凄まじさを実感し、人的被害が少なかった事は奇跡的なことであったと思いました。被害に遭った住民の方の話によると、竜巻は何が起こったのか判らないくらいほんの一瞬の出来事だったようです。また、工場が被災された会社経営者の方は、「気象の注意報が出されるが、もっと“命を守る”知識を集結して欲しい。また、ハード面よりソフト面でどうにかならないのか？」といった問題点を指摘されました。



竜巻は発生メカニズムも理解されていない日本では新しい災害ともいえます。防護策も周知徹底あるいは確立していない災害です。気象的にも予測が困難であり、データの蓄積も日本ではほとんど無い状況です。地球温暖化の影響であるのか、近年その発生件数と凶暴化が極めて高くなっています。その被害は面積的に言えば竜巻の通過した限られた範囲である

かもしれませんが、人的被害のみならず、住居や産業施設等の建築構造物や生産活動までを一瞬のうちに破棄し尽くし被災者の負担は甚大なものとなります。

私は昨年5月6日の竜巻被害の審議のため開会された参議院災害対策特別委員会で、竜巻予報の精度向上の具体策として国土交通省所管のゲリラ豪雨観測のXバンドMPレーダーと気象庁所管のドプラーレー

ダーの連携運用を提案し、被害の実態に即した補償制度と支援策を強く求めました。

今回、竜巻の被災地を訪れて、あらためて災害救助法と被災者再建支援法を竜巻被害に対応する法律に改正するべきと痛感しました。

私、田城郁は、これからも「現場第一」で行動し、日本や世界の平和を考えながら、ぶれずに、憲法第9条堅持、脱原発、働く人、弱い人の立場の代表として、人間らしく生きられる社会を目指して闘い続けていきます。今後とも、ご支援よろしくお願いたします。

「2013年党员・サポーター登録」ご協力有難うございました。

2013年党员・サポーター登録にご協力いただき誠に有難うございました。また、日頃より民主党にご支援いただき重ねて御礼申し上げます。

本年5月末日に登録されました **栃木県連党员・サポーターは3,845名**でした。

未だ、民主党への情勢は大変厳しい中にありますが、私たちは、全ての人が居場所と出番のある経済社会を目指し、民主党の基本理念に基づく経済政策を実現するために邁進してまいります。今後ともご支援ご支持賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

